



2025-2026 年度 RI 会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」

GOVERNOR'S

Monthly Letter



よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary 



フランチェスコ・アレツォ RI 会長と。

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度ガバナー 玉井 清治

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail : rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

ガバナー月信 vol.2 目次

ガバナー公式訪問報告

札幌西 RC

7/8 (火)

砂川 RC

7/9 (水)

岩見沢東 RC

7/15 (火)



2025-2026 年度 地区委員会活動計画書

 地区立法案検討委員会 委員長 羽部 大仁 (札幌南 RC・PG) 2p	 地区拡大委員会 委員長 大日向 豊吉 (函館五稜郭 RC・PG) 2p	 地区 RI 国際大会 推進委員会 委員長 松浦 光紀 (小樽南 RC・PG) 2p	 地区ロータリー財団 監査委員会 委員長 酒井 正人 (函館五稜郭 RC・PG) 3p
 地区危機管理委員会 委員長 福田 武男 (千歳 RC・PG) 3p	 地区新会員研修委員会 委員長 松永 英樹 (室蘭東 RC) 3p	 地区文献資料室委員会 委員長 小里 学 (札幌南 RC) 3p	 地区ロータリー フェローズ委員会 委員長 鄭 子龍 (札幌モーニング RC) 4p
 地区会員増強委員会 委員長 嵯峨 義輝 (岩見沢 RC・PG) 4p	 地区クラブ奉仕委員会 委員長 松下 早苗 (栗山 RC) 4p	 地区公共イメージ 向上委員会 委員長 小川 有積 (岩見沢 RC) 5p	 地区 ICT 委員会 委員長 里見 英樹 (札幌南 RC) 5p
 地区職業奉仕委員会 委員長 大坪 誠治 (美唄 RC) 6p	 地区社会奉仕委員会 委員長 佐々木 雅之 (札幌南 RC) 6p	 地区国際奉仕委員会 委員長 高張 秀人 (札幌手稲 RC) 6p	 地区青少年奉仕委員会 委員長 大泉 清 (札幌モーニング RC) 7p
 地区青少年交換委員会 委員長 藏重 健人 (札幌北 RC) 7p	 地区 RLYA 委員会 委員長 後藤 広隆 (函館五稜郭 RC) 7p	 地区インターアクト 委員会 委員長 阿部 竜司 (札幌モーニング RC) 8p	 地区ロータリー 財団委員会 委員長 石丸 修太郎 (札幌西 RC・PG) 8p
 地区財団奨学金・ 平和フェロー委員会 委員長 瀧澤 隆之介 (札幌北 RC) 9p	 地区財団補助金委員会 委員長 天内 和幸 (札幌モーニング RC) 9p	 地区 VTT・ グローバル委員会 委員長 大川 武志 (恵庭 RC) 9p	 地区ポリオプラス委員会 委員長 志田 勇人 (札幌南 RC) 10p
 地区財団資金推進委員会 委員長 黒川 篤 (札幌北 RC) 10p	 地区米山記念奨学・ 学友委員会 委員長 三浦 信一 (札幌清田 RC) 10p	 地区ロータリー 支援委員会 委員長 齋藤 聡 (岩見沢 RC) 10p	 地区 RLI 委員会 委員長 平川 香織 (札幌手稲 RC) 11p

OTHER CONTENTS

■ ガバナーメッセージ	1p	■ ハイライトよねやま	15p
■ 2025-26 年度地区委員会活動計画書	2p	■ コーディネーター NEWS	17p
■ ガバナー公式訪問例会報告	12p	■ 地区カレンダー 8月・9月	21p
■ ガバナーノミニ候補者推薦のお願い	13p	■ 地区大会のお知らせ	22p
■ 新会員のご紹介	14p	■ ガバナー公式訪問に関するお願い ・ガバナー事務所からお願い	24p

今月の写真「銭函駅」



“銭函”の名は、ニシン漁が盛んだった頃に各家にあった銭箱に由来し、明治13年、北海道初の鉄道（札幌―手宮間）が開通した際に札幌駅と同年に開業した歴史ある駅です。

（撮影日）平成25年6月30日：玉井ガバナー



未来への扉を開こう！ —会員増強への挑戦—

国際ロータリー第 2510 地区
2025-2026 年度 ガバナー

玉井 清治
(函館亀田 RC)

8月は国際ロータリーが定める「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。

この月間は、私たち一人ひとりが、ロータリーの未来を自らの手で切り拓く覚悟を新たにできる機会でもあります。

フランチェスコ・アレツォ RI 会長は、「ロータリーの最優先事項は会員増強である」と明言されました。これは、単なる数の増加を意味するものではありません。奉仕の力を絶やさず、地域社会に希望を灯し続けるために、新たな仲間を迎え入れることが、いま私たちに課せられた使命なのです。

私たちの地区が掲げた活動指針「リバイバル原点回帰」は、この精神をもって、会員増強に取り組んでまいります。原点とは何でしょうか。それは、親睦を通じて信頼を育み、奉仕を通じて世界に善を広げていこうと集った、ロータリーの創設者たちの熱き想いです。私たちは、あの原点に立ち返り、現代社会の変化に応じた新たなロータリーを築いていかなければなりません。

会員増強を実現するためには、何よりもまず、私たち一人ひとりがロータリーの価値を語ることです。難しい言葉は要りません。ロータリーに出会って得た喜び、成長した実感、仲間と歩んだかけがえのない日々など……。それを、真心を込めて伝えることが、新たな絆を生みます。

また、地区としても、未来を見据えた動きを加速させています。去る7月27日(日)、札幌において、「クラブ活性化ワークショップ」を開催いたしました。このワークショップには、地区内のクラブ会長、会員増強委員長、公共イメージ委員長や財団委員長等、皆さまにご参加いただき、それぞれのクラブが直面する課題を率直に語り合い、ガバナー補佐と共に解決への道を共に模索しました。当日は、若い世代や多様な層に響くアプローチ方法の共有。クラブの魅力を高めるための具体的なアイデア交換などをテーマに、活発な意見交換が行われ、未来に向けた活性化への力

強い一歩を踏み出す機会となりました。個々のクラブだけで悩まず、地区全体で支え合い、励まし合いながら、この挑戦に取り組んでまいりましょう。新たな仲間を迎え入れ、クラブをより強く、より魅力的に。

そして、次の100年を託すにふさわしいロータリーへ。

会員増強は、未来への投資です。

今こそ原点に立ち返り、未来へと挑戦しましょう。

ともに、未来をつくる一歩を踏み出しましょう！

よいことのため
手を取りあおう

Rotary 

国際ロータリー第2510地区 2025-26 年度地区委員会活動計画書



地区立法案検討委員会

委員長

羽部 大仁

(札幌南 RC・PG)

1. 活動方針

年度始めに、委員会を開催して今後の規定審議会に対する考え方をまとめておきたい。

今回 2025 年度の規定審議会の現状を把握して今後の活動の指針にしたい。

2. 活動計画

三年後の規定審議会に向けて各クラブから制定案を提案できる環境づくりに取り組みたい。

今、まさに、ロータリー情報の発信・真価が問われる時代であると思います。

誰かの言葉ではありませんが、「いつやるの、今でしょ！」新クラブ創設の一助となれば幸いです。

皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

2. 活動計画

ガバナーの目指す目標の実現に向け努力すること

1. ガバナーとの連携を密にすること
2. 各グループガバナー補佐からの情報収集に努め、新たなクラブの設立に努力すること
3. 各グループのガバナー補佐からの情報収集に努め、各クラブに対して衛星クラブ・ローターアクトクラブ・インターアクトクラブの設立について支援すること
4. 各委員会との情報交換も密にすること



地区拡大委員会

委員長

大日向 豊吉

(函館五稜郭 RC・PG)

1. 活動方針

昨今においては何処の地域においても過疎化が進み、経済の疲弊が叫ばれております。果たして、このような時期に新しいクラブの創設は可能なのだろうか？

逆に、このような状況下において今、ロータリーが出来ることは何かないだろうか？巷では企業間同士が相互扶助を目的とした会員制による団体を発足し始めているようです。ロータリーには「知り合いを広めることで奉仕の機会を増やす」とあります。また、ロータリーの標語の一つに「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という言葉があります。

此処で表現をされている「奉仕」と言う文言を「仕事する」と言う文言に置き換え、更に、1業種1名と言う、以前のロータリー会員入会条件を改めて考えてみた場合、ロータリーの目的は、「知り合いを広めることで仕事をする機会を増やす」また、標語は「最もよく仕事をする者、最も多く報いられる」と理解することができるのではないのでしょうか？「知り合いを広めることで仕事をする機会を増やす」、そこに相互扶助の精神が育ち、四つのテスト、ロータリーの中核的価値観（親睦・多様性・高潔性・奉仕・リーダーシップ）に繋がり、ロータリーの組織力、ロータリーの魅力となるのではないのでしょうか？



地区 RI 国際大会推進委員会

委員長

松浦 光紀

(小樽南 RC・PG)

1. 活動方針

RI 国際大会は、は 1910 年 8 月 15 日 ポールハリスが招集し、協議が行われた歴史ある大会です。2026 年度の国際大会は、日本の隣国である台湾・台北で開催されます。当地区の台湾との種々の親睦関係のあるクラブや地区国際奉仕委員会等の委員会とも協力を頂き、是非、この理解に第 2510 地区の皆さまと共に出席し、世界大会を通し、国際親善に努めたいと考えています。

2. 活動計画

地区の会合、ガバナー月信、ホームページ等を利用し、国際大会の種々の情報を提供し、参加登録の推進を図ります。

地区内クラブや地区委員会に於いて、台湾との関係のあるクラブ、委員会組織に参加協力をお願いする。

台湾の観光や台湾料理について情報を収集し、台湾の理解を深め、世界大会への参加を含め国際親善活動に努める。



地区ロータリー財団 監査委員会

委員長 **酒井 正人**
(函館五稜郭 RC・PG)

1. 活動方針

ロータリー財団関係の資金運営が適切に行われていることを確認する。

資金運営上、疑問があれば速やかに原因の調査を実行する。

問題が確認された場合は、速やかに地区がバナーに報告をし、善後策を検討する。

2. 活動計画

地区財団委員会の会合に出席をする。

資金運営に疑問があればその都度財団委員長と協議の上委員会に報告する。

資金の運営が正常に行われ、ロータリー財団の活動が容易になるように協力する。



地区新会員研修委員会

委員長 **松永 英樹**
(室蘭東 RC)

1. 活動方針

- ・地区内の複数箇所で、参加しやすい新会員向けセミナーを開催する。
- ・新会員にロータリーの基本を理解してもらえる内容のセミナーにする。

2. 活動計画

- ・参加しやすい開催地、開催時期の検討
- ・新会員にロータリーの基本を理解してもらえる内容の検討
- ・セミナー実現のための準備
(講師・コーディネーターの選定、器材・グッズの準備)
- ・多くの参加者(入会年度の浅い会員)に参加してもらうための告知・働きかけ
- ・セミナー実施のための予算作成



地区危機管理委員会

委員長 **福田 武男**
(千歳 RC・PG)

1. 活動方針

ロータリーの目的であります『奉仕の心を学び、自らの職場、業界、そして地域に広めていくこと』に従い、未来の担い手である若者たちにロータリーの心を伝えつつ、特に、ロータリー活動の第五である青少年プログラムに参加する若者の命と安全を護る事を最優先事項として活動していく。

2. 活動計画

- ① 青少年保護のための資料を各委員会や各クラブに配布し、危機管理意識を高める。
- ② 青少年交換委員会プログラムに加えて、インターアクト、ローターアクトおよび RYLA におけるプログラム活動中の賠償責任保険に加入する。
- ③ 必要に応じて危機管理委員会を適宜開催する。
- ④ RIJYEM と連携して、地区危機管理計画の策定、制度化を図る。



地区文献資料室委員会

委員長 **小里 学**
(札幌幌南 RC)

1. 活動方針

- ・文献資料の電子化と保管スペースのスリム化
- ・時代に即した文献資料室の在り方を検討

2. 活動計画

- ・保管している資料を電子化し、それらの活用方法を検討
- ・ロータリー文庫と当委員会との所蔵文献の重複調査及び同文庫への資料提供の検討



**地区ロータリー
フェローズ委員会**
委員長 **鄭 子龍**
(札幌モーニング RC)

1. 活動方針

- 1) ロータリーフェローズ（インターアクト、ローターアクト、青少年交換学生、ROTEX、RYLA、米山記念奨学生、財団奨学生、VTT、および学友）を対象にロータリーとのつながりを深めることを目的にフェローズの交流活動、学友会活動を支援・協力する。
- 2) フェローズ、学友に対するロータリアンの理解向上のための活動を推進する。
- 3) フェローズ・学友とロータリーをつなぎ、ロータリアンになることを推進する。

2. 活動計画

- 1) ロータリーフェローズ委員会を定期的を開催する。
- 2) 「ロータリーフェローズワークショップ」（体験・活動報告会）を開催し、フェローズ相互の親睦と理解を図る。
- 3) 3回目となる「Let's enjoy cooking！」を開催する。初回「日本の家庭料理」、2回目「餅つき大会」に続き、今回は留学生たちの母国の料理を楽しむ会を企画。
- 4) フェローズに対し、クラブ例会での卓話を推進する。
- 5) 日本ロータリー学友会との交流を推進する。
- 6) フェローズ、学友との連絡手段を構築する。
- 7) 学友会の活動を支援し、地区内のロータリークラブとの交流を推進する。



地区会員増強委員会
委員長 **嵯峨 義輝**
(岩見沢 RC・PG)

1. 活動方針

玉井年度のテーマは「Revival~ 原点に立ち返り、未来への繁栄へ～」です。そして、その最重点目標は、会員増強であると表明されています。国際協議会におけるマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長エレクトのスピーチに感銘を受け、拡大、増強に全力を傾けると決意表明されました。

しかしながら、現状は会員の減少が止まりません。コロナ禍が去っても減少傾向は継続中です。第2510地区では、この10年間で1割の会員が減少しました。ロータリー活動の柱であった職業分類の縛りもなくし、厳しく徹底されてきた出席率さえ大幅に緩和しても、会員は

減り続けています。

私たちは、新しい会員を勧誘する努力に比して、退会しようとする会員を引き留めるのにどれほどの努力を費やしているのでしょうか？理事会承認の報告を唯々諾々と受けているだけのシステムを変えることができないか、検討課題です。

入会3年未満の会員の退会率が特に高いデータがあります。新会員研修委員会と連携を取り、退会防止への啓蒙を図ります。

また、魅力あるロータリーを訴えるためにも、クラブ奉仕委員会、公共イメージ向上委員会、ラーニング委員会等々と連携した委員会運営を目指します。

今こそ Revival~ 原点に立ち返り、会員増強を力強く進める時です。

2. 活動計画

1. 2025年7月27日（日）
地区クラブ活性化ワークショップの開催
2. 会員増強、退会防止成功事例集の作成、配布
3. 各クラブ増強活動への支援



地区クラブ奉仕委員会
委員長 **松下 早苗**
(栗山 RC)

1. 活動方針

クラブ活性化のため、クラブに寄り添った活動を！
「クラブが主体」をモットーに！

それぞれの特性を活かした活気あるクラブ運営の一助となれるようこの二つを方針と致します。

2. 活動計画

・クラブにおける戦略計画の必要性を理解して頂き、クラブの3年後、5年後、10年後の未来ビジョンを検討する委員会や会議等の設置を推奨する活動を行う。

・各クラブの会長エレクトから提出して頂いたアンケートを集計し、その結果をもとに各クラブが何を必要としているかを把握し問題解決の手伝いをする。また、アンケート結果を各クラブ会長、と共にガバナー、ガバナー補佐、各地区委員長などへ必要な資料・情報を提供する。

・広報ハイブリッドカードを全会員に配布し、
My Rotary、Japan Portal site、地区ホームページ、

ガバナー月信、地区情報交流ひろば (SNS) のアクセスと活用の強化を推進する。

・クラブが持続可能な目標を立て、達成状況を確認するためのロータリークラブセントラルの積極的な活用を推進する。あわせて、ロータリー賞に向けた取り組みがクラブ活性化につながることを期待する。

・情報交流会「第 2510 地区クロスオーバー交流会」をズームにて複数回行います。地区委員会同士が親睦および連携を深めることを目的とし、迅速な対応や垣根を超えた活動などへの新たな方向性を見出す有効な足がかりとなるよう期待して実施。ガバナーからの情報等を各委員会、横のつながりで共有することができ、またガバナー補佐を通じて各クラブへの迅速な情報伝達の一助になることを期待する。



地区公共イメージ 向上委員会

委員長 **小川 有積**
(岩見沢 RC)

1. 活動方針

玉井地区ガバナーテーマ「リバイバル～原点に立ち返り、未来への繁栄へ～」に基づき RI 会長の「よいことのために手を取りあおう」のメッセージを受け、ロータリーの原点に立ち返りつつ、時代に即した革新と発展を目指します。

2. 活動計画

1. 地区内クラブに対する情報の受発信

- ・ SNS や広報活動を通じて、ロータリーの社会的価値を広く発信し地域社会における存在感を高める。
- ・ 各クラブの例会などで卓話を通して公共イメージ向上の必要性と取り組みを推進する。
- ・ ロータリー公共イメージコーディネーターとの連携
- ・ 他地区との連携および情報交換
- ・ 地区委員会との連携

2. クラブ奉仕委員会・ICT 委員会との協力

地区プロジェクトや地区委員会及び各クラブの活動をアウトターに向けて発信すると共に、「ロータリーブランドリソースセンター」の活用を各クラブに呼び掛ける。

3. 委員会のスキルアップ

公共イメージ向上のための効果的な広報の研究、地区プ

ロジェクト及び 地区委員会の情報把握を行うために、定期的な委員会開催と委員会内情報共有を高める。



地区 ICT 委員会

委員長 **里見 英樹**
(札幌南 RC)

1. 活動方針

ICT (情報通信技術) を積極的に活用し、ロータリー活動の効率化・透明化・魅力向上を図る。特に「My Rotary」「クラブセントラル」「地区ホームページ」などの公式ツールの利用促進を中心に、クラブ間の連携と会員の理解を深めることを目的とする。

2. 活動計画

- ① My Rotary 登録・活用の推進
 - ・ 会員個人の My Rotary 登録率向上を目標
- ② クラブセントラルの活用支援
 - ・ クラブセントラル入力の年間スケジュール化支援 (目標、実績、寄付など)
 - ・ 入力忘れ・不備防止のリマインド機能運用
- ③ 地区ホームページ、関連 SNS 等の利活用促進
 - ・ クラブからの投稿・イベント情報掲載支援
 - ・ ホームページ上の「メイクアップカードの電子化」機能の導入支援
 - ・ SNS 等の利活用
 - ・ 会議資料、配布物、案内状等の PDF 化・電子配布システム構築と周知
- ④ RLI 等のオンラインセミナー・会議のサポート
 - ・ RLI や地区委員会・分科会などのオンライン開催支援 (Zoom 操作・録画・資料共有)
 - ・ ホストクラブ向け「オンライン運営」の整備と技術支援
 - ・ 通信トラブル時の対応体制の構築
- ⑤ ICT 相談窓口
 - ・ メール／フォームによる ICT 相談の受付 (My Rotary 操作、Zoom 設定など)
- ⑥ サイバーセキュリティとデジタルリテラシーの啓発
 - ・ パスワード管理、詐欺メールへの対策、ファイル共有の安全性などについて研修会実施
- ⑦ 公共イメージ向上委員会との連携
 - ・ クラブ奉仕活動などの非ロータリアン向けの周知
 - ・ SNS 等の利活用
- ⑧ ハイブリットカードの利用促進
 - ・ 地区ページ内でのリンク整備



地区職業奉仕委員会

委員長 **大坪 誠治**
(美唄 RC)

1. 活動方針

地区 HP での情報更新や会員間での学習会、講演会ならびにワークショップなどを通じて、「職業奉仕は難しい」との考えを可能な限り払拭していただくとともに、もっと多くの方にロータリーの根幹である職業奉仕に関心を持ってもらう。

2. 活動計画

1. 各地域のロータリアンの Map 検索

各グループを超えた繋がり、同業者や関連業者などを知るため、加えて地域出張時や他のクラブ訪問に利用できるための検索ツールを作成する。

2. 地区の職業奉仕委員会の HP の充実

ロータリーの歴史や各重要な人物や職業奉仕に関する情報や、いろいろな方々の考え方などを紹介することで、少しでも職業奉仕に関心を持ってもらう。

3. 年 1 回の講演会

職業奉仕に造詣の深い講師を招き、講演会（Web 開催）を開き参加者とともに職業奉仕について議論する場を作る。2026 年 1 月 Web 開催予定。

4. 各委員会との連携

Map 検索ツール作成や講演会開催にあたり関係各委員会との連携が必要である。

5. 顔の見える委員会の定時開催

コロナ禍であったこともあり、今までは不定期で Web のみによる委員会開催であったが、可能な限り集まって顔の見える委員会を開催（ガバナー事務所、Web 併用可）し、委員会メンバー間での職業奉仕に関する学びや意見の集約を行いたい。



地区社会奉仕委員会

委員長 **佐々木 雅之**
(札幌南 RC)

1. 活動方針

本年度は、地区内のクラブと情報共有して、各クラブの社会奉仕活動に実際に地区委員会が参加して、現状の課題・気づき等を発見し、各地域の皆様と元気な社会になるためのお手伝いができればと考えております。

2. 活動計画

・2025 年 6 月に開催予定の被災 3 町村の若手起業家と地元 JC、そしてロータリアンとの交流を基に 2025 年度は、さらに交流発展できればと考えております。

・先延ばしとなっております、胆振東部震災の活動報告書を今年度で完成させたい。

・第 2510 地区の各クラブの社会奉仕活動に地区の委員会と一緒に参加させていただき、奉仕活動するうえでの課題、気づきを見つけ次の世代につなげていきたいと考えております。

・地区全体で社会奉仕活動をより活発にする為に地区の委員会に参加していただく方を見つけ出す（次の委員会活動に繋げるために）



地区国際奉仕委員会

委員長 **高張 秀人**
(札幌手稲 RC)

1. 活動方針

フランチエスコ RI 会長及び玉井ガバナーの平和への想いを含めた熱いメッセージを考慮し、新たなチャレンジに取り組む。

・ICC の立ち上げに関わり、平和の活動へ取り組み、適宜各クラブに情報提供する

・第 3860 地区セントラルダバオロータリークラブと連携し、食糧不足と栄養失調への対応に関わる事業を予定

・第 3340 地区との関わりは継続するが、毎年の事業に遅れが目立つため考察する年度とする

2. 活動計画

- ・7月からの ICC の立ち上げから情報を収集し、1年間かけて今年度でできること、次年度以降に実施することなどを整理する
- ・新たに第 3860 地区の母子と健康、教育の支援について実施予定のため、地区研修・協議会でも各クラブへ情報提供する
- ・例年実施してきたタイにおける検証ツアーは、全体に呼びかけしない。
時代に合わせ現地と ZOOM を繋いで確認するなど方法を模索する。



地区青少年奉仕委員会

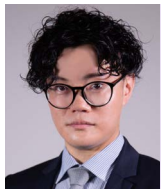
委員長 **大泉 清**
(札幌モーニング RC)

1. 活動方針

地区インターアクト委員会、地区青少年交換委員会、地区 RYLA 委員会の運営がスムーズに行われるようお手伝いする。

2. 活動計画

- ・各委員会で主催するイベントに参加、お手伝いをする
- ・危機管理委員会への参加
- ・各委員会の事業に関わるクラブへの支援
- ・卓話等を通して青少年奉仕についての理解を深める



地区青少年交換委員会

委員長 **藏重 健人**
(札幌北 RC)

1. 活動方針

- ・派遣候補生、受入学生、ROTEX が意義ある活動ができる場を提供する。
- ・参加学生に青少年交換 / ロータリークラブの理解を深めてもらえるオリエンテーション各行事の企画を行う。
- ・参加クラブに対してクラブ、カウンセラー、ホストファミリーの役割に対する理解を深めてもらえるオリエンテーション作りを行う。

- ・青少年交換事業に ROTEX の参加を促す。

2. 活動計画

- ・派遣候補生、受入学生オリエンテーションを実施
(全 12 回程度)
- ・参加クラブ、カウンセラー、ホストファミリー向けのオリエンテーションを実施
- ・受入学生歓迎会、派遣候補生壮行会、帰国報告会を実施
- ・秋季、冬季、春季に ROTEX、派遣候補生、受入学生を対象に研修を実施
- ・第 2500 地区との交流を実施 (全 3 回程度)
- ・オリエンテーションに ROTEX 参加を促し実体験報告、各行事への参加協力をしてもらう。
- ・派遣候補生、受入学生、ROTEX が参加し奉仕活動を実施
- ・必要に応じて地区内クラブ・高校へのプログラム / 事業説明を行う。
- ・ROTEX の組織化を継続課題とし、実体のある ROTEX 活動の構築を行う。
- ・各種オリエンテーションの内容を再検討、より時代に合った内容に改善し参加者に理解をしてもらえるように努める。



地区 RLYA 委員会

委員長 **後藤 広隆**
(函館五稜郭 RC)

1. 活動方針

RYLA は『ロータリー、ユース、リーダーシップ、アワード』の名の通り、ロータリーの青少年指導者養成プログラムです。時代と共に変化する若い世代の多様なニーズや地域性に合った形でセミナーを行います。またその委員会活動を地域内のロータリアンの皆様にも周知していきます。

RYLA はロータリーに関わる青少年、インターアクト、ローターアクト、交換留学生、奨学生をはじめ、地域の若手リーダー候補、各企業のリーダー予備軍など様々な若者と関わりを持つことができます。

RYLA の目的であるリーダーシップを発揮できる、自分の可能性を試したいという思いを抱いている若者を発掘し、非日常の中で同じ志を持つ仲間と出会い、育みあうためのプログラムをじっくりと検討・企画してセミナーを開催致します。

また、より良いセミナーの企画とする為に RYLA 学友と共にセミナーを企画し、ロータリーファミリーとして継続的な関係を築いていきます。

2. 活動計画

2025年

- 7月～9月 RYLAプログラムの企画立案
開催時期、場所の検討
- 9月 RYLA学友の集い 開催
- 10月～12月 セミナー内容、講師の選定

2026年

- 1月～3月 プログラム、予算など確認
受講者募集開始
- 4月 参加ロータリアン、参加者の確認
- 5月 RYLAセミナー開催
- 6月 RYLAセミナー報告書取りまとめ



地区インターアクト 委員会

委員長

阿部 竜司

(札幌モーニング RC)

1. 活動方針

1. 地区インターアクト委員会のプログラムである海外研修と年次大会を充実したものにすべく検討する
2. インターアクトクラブ及びクラブの所属する高等学校にロータリークラブの奉仕の精神を理解したうえで活動してもらう。
3. 地区内にインターアクトクラブの情報を発信し、提唱クラブ以外のクラブにもインターアクトクラブを理解してもらい、活動に協力してもらう。
4. 新しいインターアクトクラブの設立に向け情報収集と情報提供をする。

2. 活動計画

1. 年次大会の開催（2026年6月予定）
2. 研修旅行の実施（2025年8月1日～8月4日予定
3泊4日 台湾）
3. 地区大会参加の奨励（並行プログラム等）
4. 年4回～5回の地区委員会の開催
5. インターアクトクラブ間の情報交換・交流の推進
6. インターアクト卒業後のローターアクトクラブ入会促進およびローターアクターと共同例会の計画
7. 学友委員会への協力
8. 新規インターアクトクラブの設立支援
(現在、札幌西 RC・恵庭 RC が具体的な設立準備に進んでおり、小樽南 RC・浦河 RC が関心ありという状況。)



地区ロータリー 財団委員会

委員長

石丸 修太郎

(札幌西 RC・PG)

1. 活動方針

地区ロータリー財団委員会（DRFC）は、地区の財団補助金事業及び寄付活動により多くの会員が参加するよう啓蒙活動を行う。

ロータリー財団とクラブ会員をつなぎ、地区補助金等のロータリー財団資金のさらなる活用を推進しながら、地区財団資金推進委員会とともに、活動の元となる寄付推進、「ゼロクラブ0」の達成、冠名基金の創設等、資金寄付推進（ファンドレージング）に注力する。

これまで行われてきた種々の財団プログラムを、財団補助金委員会、ポリオプラス委員会、財団奨学金・平和フェロー委員会、VTT・グローバル委員会、財団資金推進委員会および国際奉仕委員会等の各委員会が行うクラブへの紹介を支援し、ロータリー財団への寄付が有効に使われていることをより多くのクラブに知ってもらう。

2. 活動計画

1. 財団委員会および関連委員会を適宜開催する
2. 財団関連委員会と協力して、各クラブで行われる財団プログラムの実施に協力する。
3. 学友委員会と協力し、財団学友の積極的な財団プログラムへの参加とロータリークラブへの入会を推進する。
4. 各クラブからの卓話の依頼に積極的に対応し、ロータリー財団を理解してもらう機会を逃さず活用する。
5. ロータリー財団とクラブをつなぐ地区補助金委員会、ポリオ根絶の推進を目指すポリオプラス委員会、日本だけでなく世界にとっての有能な人材を育てる財団奨学金・平和フェロー委員会、グローバル補助金のさらなる推進を目指すVTT・グローバル委員会などの関連委員会の活動と様々な苦境にある世界の子供たちへの人道支援奉仕活動を推進する国際奉仕委員会とともに財団資金推進委員会の活動を広報することでロータリー財団を知り理解する機会としたい。



**地区財団奨学金・
平和フェロー委員会**
委員長 **瀧澤 隆之介**
(札幌北 RC)

1. 活動方針

国際ロータリーとロータリー財団の指針に沿って、日本国からのロータリー財団奨学生として相応しい奨学生を海外に送り出せるよう、研修および選考のシステムを構築し、ロータリーの重点分野や世界平和を通じて活躍し未来に繋いでいけるようサポートに努める。

更には、留学期間終了後も、様々な支援や交流の機会及び地区内での報告の機会等を設ける。このことにより、地区内ロータリアンに対する財団奨学金の啓蒙及び学友となった奨学生達に対するロータリー活動の啓蒙に努め、地区内ロータリアンにあっては財団奨学金への理解を得られるようにし、元奨学生である学友にあってはロータリアンになってもらえるように努める。

2. 活動計画

- ① 募集選考準備
- ② 財団への申請準備
- ③ 地区出発者への壮行会準備
- ④ 候補者の募集選考・面接
- ⑤ 選考された候補者への研修、説明会
(今後の予定説明・誓約書の授受等)
- ⑥ 壮行会準備・実施
- ⑦ 報告書・レポートの確認と配信
- ⑧ 帰国した奨学生による報告会
プレゼンテーション(学友会への協力)
- ⑨ 各クラブでの卓話や地区行事での財団奨学金についての広報・公共イメージ向上活動
- ⑩ 奨学生と地区委員をつなぐメーリングリストの開設
(奨学生同士・委員の交流の促進)
- ⑪ 定期的なオンラインミーティングの開催
(奨学生同士・委員の交流の促進)
- ⑫ 委員会メンバーの親睦の親睦・連携を推進するため、委員会メンバー・奨学生を対象とした交流会(懇親会)の開催



地区財団補助金委員会
委員長 **天内 和幸**
(札幌モーニング RC)

1. 活動方針

- ・ロータリー財団と地区の規程、方針に基づき活動します。
- ・補助金申請クラブ数が前年度を上回る様、積極的に働きかけます。
- ・ZOOM等を利用しオンラインで委員会を実施します。
- ・申請作業の効率化を図り、委員会実務の負担軽減を行います。

2. 活動計画

- 1) 補助金申請に関して
 - ・4月30日を締め切りとして、各クラブ・委員会からの申請書類の収集を行う
 - ・6月中に補助金審査会の実施
 - ・7月中にロータリー財団へ申請と前年度の報告書提出
 - ・8月中に申請クラブ・委員会へ地区補助金の振込
- 2) 委員会の開催について
2回程度の補助金委員会の実施
- 3) その他
 - ・クラブからの申請に応じて、卓話の実施
 - ・セミナー対応



**地区VTT・
グローバル委員会**
委員長 **大川 武志**
(恵庭 RC)

1. 活動方針

- ① グローバル補助金の広報
- ② グローバル補助金申請の支援
- ③ グローバル補助金の管理

2. 活動計画

- ① 各クラブでの卓話の実施
- ② グローバル補助金申込書等のフォームの整備
- ③ グローバル補助金が適切に使用されているかを現地に向いて確認する



地区ポリオプラス委員会

委員長 **志田 勇人**
(札幌南 RC)

1. 活動方針

今年度の活動方針としては常在国 2 か国と感染者数の更なる撲滅、そしてそれに向けた募金活動、昨年度好評でありましたポリオデーに合わせたテレビ塔のライトアップイベントのようなポリオデーのイベント企画に携わること、また一昨年度から始まりました現在 13 名のポリオプラス・ソサイエティーの登録者数の増加を目指して参りたいと思います。目標は現在の 13 名に加えて各グループ 1 名増を目標に合計で 25 名としました。

2. 活動計画

委員会開催について前年度は ZOOM 開催が大半であったので今年度はリアル開催を増やしたい。

前年度と同様に平岸マルシェやフェスタつきさっぷ、地区大会、PHS 認証式などでの募金活動を行う

チャリティーコンサート、オークションの開催

ポリオデーのイベント



地区米山記念奨学・ 学友委員会

委員長 **三浦 信一**
(札幌清田 RC)

1. 活動方針

本奨学金制度創立当時とは、国内外の各状況は大きく変動しており、本奨学金制度の現在の運用状況、更には制度の存在意義そのものにも疑義が持たれているのではとの危惧に際し、それらの意見は真摯に受け止めつつ、各クラブ各会員への本奨学金制度の理念原則、存在意義への理解を深めるべく活動を実施。

2. 活動計画

各クラブ（特に地理的理由から世話クラブを依頼することのできないクラブ）への訪問、卓話等を奨学生と共に実施し、奨学生との交流の機会増大。サブ世話クラブの普及。上記を通じて、奨学生世話クラブ、カウンセラー制度への理解促進

学友会との連携の促進

奨学生世話クラブ、カウンセラーへの支援拡大

奨学生選考に際しての多様性（国籍、学校、クラブ地域等）の維持

上記を通じて、更なる寄付（特別寄付）増大への理解、協力の促進



地区財団資金推進委員会

委員長 **黒川 篤**
(札幌北 RC)

1. 活動方針

0 クラブゼロの推進

PHS 増員の推進

大口寄付への理解の推進

2. 活動計画

1. 年次寄付を年間一人 150 ドル以上
2. ポリオプラスへの寄付を年間一人 30 ドル以上
3. 第 2510 地区は財団寄付ゼロクラブを 0 とする
4. PHS の純増



地区ローターアクト 支援委員会

委員長 **齋藤 聡**
(岩見沢 RC)

1. 活動方針

既存のローターアクトクラブの活動に助言などを行うことにより、より活発な活動をサポートし、奉仕活動や親睦を通して広く認知してもらう事、および新しいクラブの設立を目的と考えている。

また会員減少から地区運営及び活動がうまく機能しておらず、運営のサポートや助言を行うことにより負担の軽減、ロータリアンとしての心構えを周知徹底する。

2. 活動計画

・地区ローターアクトクラブは様々な地区行事を計画しており、それらの開催の助言やアドバイスを行うと共に地区行事並びに業務の在り方について検証し負担感の解消に努める。

- ・ローターアクトとロータリアンの連携のサポートをすることによって、地区内のロータリアンにローターアクトの活動を広く認知してもらう。
- ・2022 年度より、ローターアクトのあり方が大きく変化することに対応し、現状のローターアクターおよびクラブの実態に即したローターアクトのあり方を模索する。



地区 RLI 委員会

委員長

平川 香織

(札幌手稲 RC)

1. 活動方針

RLI セミナーを通じて、クラブの活性化を目指す！

RLI の目的に従い、ロータリアン一人ひとりがロータリーを学ぶ「きっかけ」を掴む機会を作り、ロータリアン同士の絆を深め、クラブ活性化を目指す活動を行う。

2. 活動計画

① RLI セミナー開催

- ・パートⅠ～Ⅲ及び卒後コースの実施
- ・受講者にとってより効果的なセミナーを目指す。

② ファシリテーターの育成

- ・セミナー開催に向け、ファシリテーター研修会を実施し、スキルアップを行う。

③ RLI の広報活動の促進

- ・会員への RLI の周知、及びセミナー受講への周知を積極的に行う。
- ・ガバナー及びガバナー補佐のご協力による周知促進、地区 HP およびガバナー月信による情報提供、またクラブ訪問や資料配布などを行う。

ガバナー公式訪問例会報告

札幌西ロータリークラブ

7/8(火)

2025年7月8日(火)札幌プリンスホテル国際館パミールにて、玉井清治ガバナー、池田和陽第4グループガバナー補佐、吉川達也地区副代表幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

会長・会長エレクト・幹事会では、大村会長からクラブの方針や活動報告、玉井ガバナーから国際ロータリーおよび地区の現状についてお話があり、有意義な懇談会となりました。クラブアッセンブリーでは、各委員長が「ロータリー感」を発表し、玉井ガバナーより好評を得ました。

ガバナー公式訪問例会では、新入会員の山口史貴会員の入会式も行われ、玉井ガバナーにロータリーバッジの授与をしていただきました。

玉井ガバナーの卓話では、今年の地区大会の新たなプログラム構成、ハラスメント防止への取り組み、コロナ禍の影響による例会や奉仕活動の重要性などについて述べられ、今年度は新会員向けセミナーの開催、ガバナー月信の電子化やダイジェスト版の配布を進め、利便性の向上を図っていることなど貴重なお話を伺いました。

ガバナー、ガバナー補佐より貴重なご意見を伺うことができ、今後の各委員会の奉仕活動に活かせるよう、クラブの活性化を進めてまいりたいと思います。



砂川ロータリークラブ

7/9(水)

去る7月9日(水)、玉井清治ガバナー、沢田広志ガバナー補佐、番場優地区幹事をお迎えし、クラブ協議会、例会が地域交流センターゆうにて、開催されました。

10時30分より会長・幹事懇談会、11時30分よりクラブ協議会が開催されました。

会長・幹事懇談会では砂川RCのこれまでの取り組みと現状について報告させていただきました。クラブ協議会では今期の活動計画について協議されました。

玉井ガバナーより、砂川RCのこれまでの活動をご評価

の入会式も行われ、玉井ガバナーにロータリーバッジの賛同いただきました事、大変うれしく今後の活動の励みになりました。また、12時30分からの例会では玉井ガバナーより卓話を頂きました。卓話の中で、「ただ会員を増やすだけではなく、魅力あるクラブには人が集まってくる。魅力あるクラブになることが重要である。」とのお言葉が大変印象的でありました。

今年度の砂川RCクラブテーマは「今、地域を見つめ、ロータリーの心と奉仕を伝えよう」と設定しています。今まで以上に地域と連携し、魅力的な砂川RCへと歩みを進めてまいります。



ガバナー公式訪問例会報告

岩見沢東ロータリークラブ

7/15(火)

7月15日(火)、岩見沢平安閣に、玉井清治第2510地区ガバナー、西方洋昭第3グループガバナー補佐、徳重寛道補佐幹事をお迎え致しました。

玉井ガバナーからは、RI会長の突然の交替についてのご説明、また、当クラブの奉仕活動計画につき評価をいただき、更に会員増強については、「WEB会員」制度の導入などの助言(ヒント)をいただきました。また、ロータリー活動を続けていく心構えとして、「ロータリーの基本精神は変わらないが、その精神の発揮の仕方は徐々に変わるべきもの」という趣旨のお話を伺いました。最後に10月の地区大会をご案内され、初日に大懇親会を開催

し、2日目は午前中で会議終了、ハンバーガーや焼き鳥をお持ち帰り下さいとのこと。楽しい大会となりそうです。

玉井ガバナー、西方ガバナー補佐、徳重補佐幹事の皆様、お忙しいところご訪問いただき、誠にありがとうございました。(文責：伊澤幹事)



2028-2029 年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 玉井 清治
地区ガバナー指名委員長 石丸 修太郎

2028-2029 年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛に、指定の書式にてご推薦ください。

(書式はガバナー事務所にお問い合わせください)

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節～第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第12条(ガバナーの指名と選挙)

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定

(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

2022年手続き要覧抜粋

新会員のご紹介

留萌 RC



中島 学

令和 7 年 7 月 1 日
金融業

札幌はまなす RC



宮保 秀平

令和 7 年 7 月 1 日
保険業

札幌はまなす RC



尾上 忠司

令和 7 年 7 月 1 日
建設リフォーム

札幌はまなす RC



小鷹 雅晴

令和 7 年 7 月 1 日
公務員

札幌はまなす RC



田中 慎也

令和 7 年 7 月 1 日
電力送配電事業

札幌はまなす RC



幸津 庸介

令和 7 年 7 月 1 日
保険業

札幌はまなす RC



高岡 真士

令和 7 年 7 月 1 日
飲食業・ホテル清掃

札幌はまなす RC



大桃 貴彦

令和 7 年 7 月 1 日
物流・介護

札幌はまなす RC



鍵谷 洋輔

令和 7 年 7 月 1 日
広告代理業・
フィットネスジム

千歳セントラル RC



田宮 大輔

令和 7 年 7 月 1 日
生命保険・
損害保険代理店

千歳セントラル RC



斉藤 創

令和 7 年 7 月 1 日
美容業

室蘭北 RC



齊藤 展男

令和 7 年 7 月 1 日
ホテル

苫小牧東 RC



鈴木 里佳

令和 7 年 7 月 1 日
生命保険

苫小牧東 RC



安田 亜理紗

令和 7 年 7 月 1 日
生命保険

苫小牧北 RC



近藤 和貴

令和 7 年 7 月 1 日
生命保険

恵庭 RC



坂口 由幸

令和 7 年 7 月 2 日
水道事業

恵庭 RC



舘内 玲子

令和 7 年 7 月 2 日
飲食業

恵庭 RC



松本大輔

令和 7 年 7 月 2 日
水道事業

苫小牧 RC



玉川 健吾

令和 7 年 7 月 4 日
塗装工事

室蘭北 RC



松浦 正典

令和 7 年 7 月 8 日
電気事業

※入会順



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 304

2025年7月11日
発行

1 第2660地区米山学友会 40周年記念式典開催

7月6日、国際ロータリー第2660地区米山学友会の40周年記念式典がシェラトン都ホテル大阪にて開催され、

国内外から約320人が集結しました。当会からは若林紀男理事長と6人の学友委員会委員が臨席しました。開会に先駆け、故小沢一彦名誉理事長の追悼映像の上映と、黙とうが行われました。

3部構成の第1部総会では、同学友会会長の具偉偉さん(2010-11/青森東RC)の開会の辞、水野功RI理事、同地区の吉川健之ガバナーの挨拶に続き、学友会活動等の報告が行われました。

第2部の記念式典では、実行委員長で同学友会顧問の何玉翠さん(1987-89/奈良RC)の挨拶、若林理事長の祝辞の後、同学友会の歴代会



長、同地区の歴代地区米山記念奨学委員長への記念品贈呈や、海外学友会からの参加者紹介などが行われました。

第3部の懇親会では、米山バンドによる演奏やダンスが披露された後、同地区の現役米山奨学生が紹介され、温かい拍手に包まれました。参加者から「米山奨学事業への熱量の高さに感銘を受けた」という声が挙がるほど、会場は大盛り上がりとなりました。

翌7日は「EXP02025大阪・関西万博米山ツアー」と題し、各班に分かれて万博会場を散策。約100人が参加し、さまざまなパビリオンを巡りながら最先端技術に触れるとともに、米山奨学生・学友とロータリー会員が交流を深める機会となりました。

2 第2回次期地区米山奨学委員長セミナー開催

6月9日、2025-26年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第2回セミナーを都内会場で開催しました。

午前の部は、神野重行常務理事の挨拶に続き、事務局から学務・学友・広報関連について説明を行いました。午後の部では、事例発表①として、第2760地区の神谷恵理委員長から、海外応募者対象奨学金採用の取り組みについて、続け

て事例発表②として、第2770地区の小川和義次期委員長から、米山奨学事業への理解促進と寄付増進の取り組みについて、それぞれご紹介いただきました。その後4グループに分かれて「指定校選定および学校との連携について」という共通テーマでディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、井原實副理事長の講評で締めくくられました。

米山学友と再会

ホームカミング制度 補助費変更のお知らせ

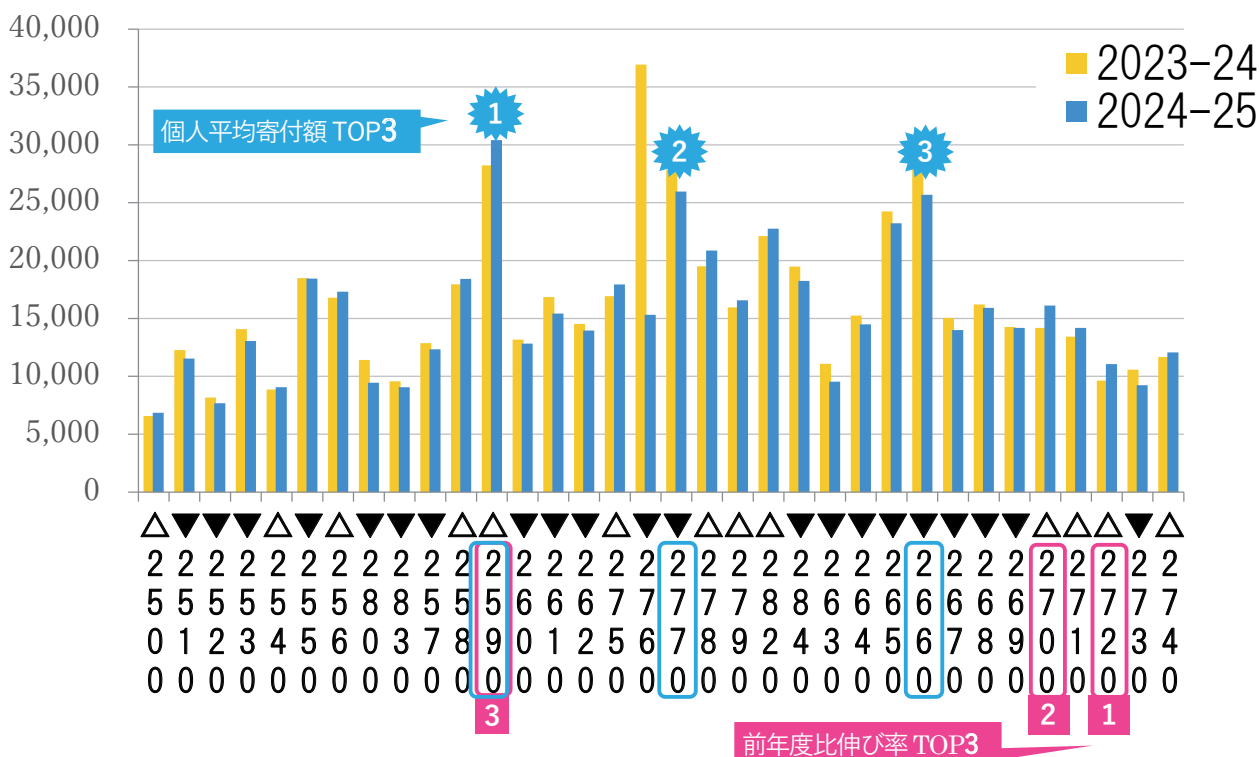
ホームカミング制度の補助費上限はこれまで一律25万円(1人につき)でしたが、2025年度からは、日本国内からの招聘は上限25万円、海外からの場合は上限35万円が支給されます(※実費精算)。各地区が誇る学友を招くため、ぜひ制度をご活用ください。

詳細はこちら



3 2024-25 年度 寄付金結果

2024-25 年度の寄付金は約 13 億 3,000 万円となりました。前年度比 7.9%減（普通寄付金:1.3%減、特別寄付金:10.6%減）、約 1 億 1,500 万円減少しました。ご寄付いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。2025 年度も引き続き、よろしく願いいたします。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：15,999 円】

① 第 2590 地区：30,406 円 ② 第 2770 地区：25,967 円 ③ 2660 地区：25,685 円

前年度比伸び率 TOP3

① 第 2720 地区：114.7% ② 第 2700 地区：113.6% ③ 2590 地区：107.7%

4 新規奨学生へ先輩奨学生が卓話を実演指導

6 月 28 日、国際ロータリー第 2790 地区が新規奨学生向けの第 2 回研修ゼミを成田市内で開催し、現役米山奨学生とカウンセラーら 77 人が参加しました。

この研修は同地区米山記念奨学委員会の主催で毎年行われており、奨学生は例会出席や卓話について、カウンセラーは奨学生本人について、それぞれ理解を深めることを目的としています。

第 1 回の研修は、「ロータリーを知る」をテーマに 5 月 17 日に開催。第 2 回となった今回、「卓話とは何か？どうやって話すのか？」をテーマに、卓話に関する注意事項の共有を行い、先輩奨学生が卓話を実演しました。参加した奨学生からは、「発表の構成が印象的で、日本語の使い方が勉強になりました」といった感想が挙



卓話を実演する米山奨学生

がりました。

2024 年度同学友会会長の玄香花さん（2022-24/木更津東 RC）は、「私も奨学生当時、研修会に参加したおかげで卓話への理解が深まり、非常に役立ちました。奨学生とカウンセラーの距離がぐっと縮まる大変貴重な機会です」と述べました。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp

URL : https://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：長尾(ながお)

美味しい、楽しい、優しい台北

台北国際大会推進コーディネーター 出村 知佳子（札幌北 RC）

台北は、日本から大変近く多くの友人がいる国際大会の舞台です。歴史ある文化、美味しい料理、そして人々の温かさ…そのすべてが、訪れる私たちをやさしく迎え入れてくれます。2026年6月13日から17日まで、台北ドームを中心に開催される「2026年ロータリー国際大会」では、世界中からロータリー会員やロータリーファミリーが集い、友情と奉仕の精神を分かち合い、国際的なつながりを深めます。



主なプログラムは以下の通りです。（すべて台北ドームにて開催）

- 6月14日(日):開会式(午前・午後の2回)
- 6月15日(月):全体会議(午前)
- 6月16日(火):全体会議(午前)
- 6月17日(水):閉会式(午後)

また、RI 理事主催による親善朝食会も予定されています。

- 日時:2026年6月14日(日)7:00 AM
- 会場:圓山大飯店(Grand Hotel Taipei)12階

台北国際大会への登録は【My Rotary】から可能で、登録期間によって参加費が異なります。早めの登録がお得ですので、ぜひこの機会にご予定ください。お一人でも、ご家族やクラブの仲間とでも、台北での貴重な体験を楽しんでいただけることと思います。

なお、2026年台北国際大会の日本地区チームは、以下のメンバーで構成されています。

- 第1地域:岡村睦美(第2770地区・川口 RC)
- 第2地域:吉川公章(第2760地区・名古屋南 RC)
- 第3地域:大橋秀典(第2660地区・東大阪東 RC)

私たち日本チーム一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

All Japan で一緒に体験しましょう。

「大会登録はこちらから」

(My Rotary 登録ページ:<https://convention.rotary.org/ja>)



クラブサポートミーティングの目的について

第2 地域 行動計画推進リーダー 桑澤 一郎（茅野 RC）

25-26 年度は、国際ロータリー会長が直前で交代するなど波乱の幕開けとなりました。しかし、会長代わりど方針変わらず、のメッセージも発信され、印刷物やバナーなどの取り替えが主な変更作業となっていることと思われます。

一方で日本のロータリーは、水野理事の力強い指導の下、継続性や独自の地域計画によって、地域リーダーによる積極的なサポート態勢が整っております。

地区組織や地域組織の役割は「クラブのサポート」であることは皆さん十分ご理解いただいております。この十数年、社会情勢の急速の変化やコロナ禍を経て、人々の価値観も急速に変化する中で、「ロータリーも変わらなければならない！」とわかっているにもかかわらず「どう変われば良いのか」が見いだせておらず、いわば「あがいている」状態でもあるといえます。

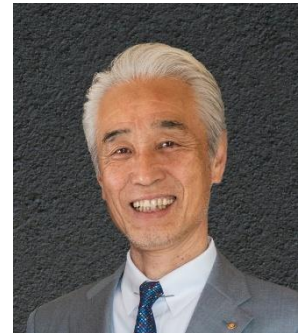
世界的に一定の影響を持つようになったロータリーは、もっともっと世界を良くしよう、という方針を立て、実現のための戦略の第一優先を「数の力」、つまり「会員増強」と位置づけています。

闇雲な会員増強は、ロータリーやその基本であるクラブの根本を変えてしまう危険を含んでいます。ですから、実は慎重に進めなければなりません。一つの解は「衛星クラブ」です。

「エクスクルーシブ(排他的)なクラブからインクルーシブ(包摂的)なクラブへ変革しなさい」といわれても、「メンバーは選ばれたエグゼクティブの集団である」ことに価値を見出している会員も多くいます。「例会出席や寄付は成功と余裕の証であり、そうした仲間との交流がロータリーに属する価値」である会員が多数いることも事実です。そこに若い人、様々な立場の人をいれて「インクルーシブになれ」といわれてもそんなに簡単には変わりません。

インクルーシブなクラブになる一番の方法が衛星クラブの創立です。ローターアクトクラブでも良いでしょう。若く、汗をかく奉仕活動に意欲のある人たちをメンバーとして迎え、彼らを支援し「自分たちにはできない」地域社会の課題に取り組んでもらうことで、地域社会への影響力を向上させ、地域におけるロータリーの新しいブランドを作ることが出来ます。

今年度から「ガバナー主催のクラブサポートミーティング」や地域リーダー主催の「ガバナーサポートミーティング」が定期開催されます。ガバナーや地域リーダーは単に数字を追うだけではなく(しかし数字も大事です!)、是非こうした戦略的手法の提案で、実質的なクラブサポートに繋げていただきたいと思います。ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。



第3地域 ポリオ根絶コーディネーター 藤井 秀香（岸和田東 RC）

カルガリーでの国際大会開会式で、ビル・ゲイツ(ゲイツ財団理事長)が「私達は今、岐路に立っています。今後数年間がポリオ根絶のカギとなります。全力を注がなければ、ポリオが無くなったと思っていた国で再発してしまう恐れがあります。根絶を完遂するには、政府、医療従事者そして、ロータリーの皆様の継続な取り組みが不可欠です！」今後三年間パートナーシップを更新し取り組んでください。



去年の末には、感染者数が増えポリオ根絶の「ラストマイル」は、依然として困難な段階です。今年1月、NHK BSで(国際報道 2025 パキスタン根絶間近に見えたポリオ感染急拡大)番組が放映されました。もともと衛生状況が悪いうえ紛争、政治的混乱、気候災害、ハイリスク地域におけるワクチン拒否など、数々の課題による接種率の低下です。随分と長いよね。本当に根絶できるのだろうか？そのような声も聞こえます。尾身茂ポリオ根絶大使は、問題は『根絶されるのか？』ではなく、『いつ根絶されるか！』ということだと仰っています。ゴールは見えていないわけではない。見えております。

2025年4月21日から23日まで、アフガニスタンは今年最初の全国的なポリオワクチン接種キャンペーンを実施し、1100万人以上の子供たちに予防接種を行いました。これは隣国のパキスタンでのキャンペーンと同期しました。5月、アフガニスタンは2回目の全国キャンペーンを実施し、再びパキスタンと同期しました。この連続した調整は、高い感染シーズンを前に、免疫のギャップを埋め、ウイルスとの戦いを強化するのに役立ちました。

アフガニスタンとパキスタンでの4月と5月のキャンペーンは、免疫力を高め、ウイルスのさらなる拡散を防ぐ重要な機会を提供しました。アフガニスタンのポリオ根絶プログラムは、すべての子供を守るために適応と革新を続けています。

日本では、95%の子供に母子混合ワクチンを接種しており、年間151億円もかかっています。日本では発症者ゼロですが、根絶しない限り接種は続けなくてはなりません。世界のどこかにポリオウイルスが存在する限り、ほかの国でポリオが再び発生する可能性があり、全世界への感染拡大リスクは無くなりません。ポリオ根絶の取り組みを今ストップしたら、今後10年間に毎年20万人の子どもが身体まひを発症する可能性があります。ポリオプラスへの皆様のコミットメントと寛大な年間寄付は、ポリオの世界的な根絶に具体的な支援を提供し、世界の理解、善意、平和を促進します。

天然痘に次ぐ歴史上2番目の人間の病気を根絶する歴史的な機会は、手の届くところにあります。天然痘がそうであったように、1つの疾病を世界から根絶するのはとてつもなく大きな仕事で、一人でも多くの力が、必要とされています。特定の地域における徹底した定期予防接種、ほかの予防接種活動(キャンペーンなど)の実施、疾病のモニタリングやポリオウイルスを検知するための廃水のサーベイランス(監視)といった活動にも寄付金は使われます。

最近の課題は、米国トランプ政権による予測不能な政策です。ロータリーは、寄付国政府から支援を確保するために、アドボカシーを行ってきました。

ファンドレイジングとは、「与えることの喜び」を人に教える方法です。

ヘンリー・ロツソ（インディアナ大学 Lilly Family）

パキスタンにポリオワクチン投与に参加した折、30年間のロータリー歴でポリオにさせて頂いた寄付はこの様に使われているのだと感動いたしました。ストーリーテリングとは、物語を使って情報やメッセージを伝える手法のことを指します。ただ単に事実や数字だけを伝えるのではなく、感情を揺さぶるようなポリオ根絶活動や具体的な例（世界ポリオデー、フォトコンテストなど）を伝えることで、相手に印象を与え、共感を得たり行動を促したりする方法で、ファンドレイジング出来ればと考えております。

第3地域では全地区ポリオ根絶委員会を設けており、ご寄付や支援するための行事も考えておられます。第2640地区の和歌山南RCは全会員74名ポリオプラス・ソサエティ(PPS)に参加くださいました。敬意を表します。国際ロータリー75周年の年に子供たちへの約束をしたのですからワクチンで予防できる疾病に苦しむ子どもがあってはなりません。国際ロータリーは揺るぐ事なく最優先事項「ポリオ根絶」に立ち向かっていきます。

地区カレンダー 8月・9月

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間	
1 (金)	公式訪問(苫小牧RC) インターアクト研修旅行(~4日・台湾)
2 (土)	
3 (日)	
4 (月)	公式訪問(札幌南RC)
5 (火)	公式訪問(札幌はまなすRC、札幌大通公園RC)
6 (水)	公式訪問(余市RC)
7 (木)	公式訪問(小樽銭函RC)
8 (金)	公式訪問(小樽南RC)
9 (土)	
10 (日)	
11 (月)	山の日
12 (火)	
13 (水)	
14 (木)	
15 (金)	
16 (土)	
17 (日)	
18 (月)	
19 (火)	公式訪問(当別RC)
20 (水)	公式訪問(札幌モーニングRC、恵庭RC)
21 (木)	公式訪問(札幌西北RC)
22 (金)	公式訪問(札幌幌南RC、札幌ライラックRC)
23 (土)	公式訪問(札幌手稲RC)
24 (日)	青少年交換派遣学生帰国報告会
25 (月)	
26 (火)	公式訪問(様似RC、浦河RC)
27 (水)	公式訪問(静内RC)
28 (木)	公式訪問(えりもRC)
29 (金)	地区野球大会(~30日・滝川)
30 (土)	
31 (日)	

9月 基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間	
1 (月)	公式訪問(札幌北RC、長沼RC)
2 (火)	公式訪問(札幌清田RC、北広島RC)
3 (水)	公式訪問(札幌RC、新札幌RC)
4 (木)	公式訪問(札幌東RC、美唄RC)
5 (金)	
6 (土)	
7 (日)	
8 (月)	第1回ガバナーエレクト・ラーニングセミナー(~9日)
9 (火)	公式訪問(小樽RC、千歳セントラルRC)
10 (水)	公式訪問(倶知安RC) 2026-27年度地区ラーニングファシリテーターセミナー
11 (木)	公式訪問(岩内RC)
12 (金)	
13 (土)	
14 (日)	
15 (月)	敬老の日
16 (火)	公式訪問(赤平RC、栗山RC)
17 (水)	
18 (木)	公式訪問(千歳RC)
19 (金)	
20 (土)	札幌西RC創立65周年記念式典
21 (日)	
22 (月)	
23 (火)	秋分の日
24 (水)	
25 (木)	公式訪問(室蘭RC)
26 (金)	
27 (土)	公式訪問(長万部RC)
28 (日)	
29 (月)	公式訪問(三石RC)
30 (火)	

Rotary
District 2510



UNITE FOR GOOD

2025－2026年度
国際ロータリー第2510地区

地区大会

ホストクラブ

函館亀田ロータリークラブ

1日目 2025.10/11 (土)

会場 函館国際ホテル

- 14:00 / 登録開始
- 15:00 / 会長・幹事会
- 18:30 / RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会及び大懇親会

2日目 2025.10/12 (日)

会場 函館国際ホテル

- 8:30 / オープニング
- 8:40 / 本会議
- 12:40 / 閉会

上記プログラム及び時間は変更される場合がございます。

ご挨拶



国際ロータリー会長
フランчесコ・アレッツォ



ガバナー
玉井清治



地区大会
実行委員長
秋田正悦

歴史と観光のノスタルジックな街、函館より、心より皆様を歓迎申し上げます。

2025年10月11日(土)・12日(日)の2日間、国際ロータリー第2510地区の地区大会をここ函館にて開催いたします。

今回の地区大会は、「UNITE FOR GOOD(よいことのために手をとりあおう)」のメッセージのもと、地区内全てのクラブが一堂に会し、つながりと親睦を深めるかけがえのない機会として開催されます。

特筆すべきは、今回の大会が従来の形式にとらわれず、全ての参加者にとってより快適で、楽しく、そして思い出深い大会となるよう様々な工夫を凝らしている点です。

特に三つの大きな特徴を掲げております。

- ・第一に、遠方からご参加の皆様にも配慮した、ゆとりある

時間構成。

- ・第二に、全員が主役となる「RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会」ならびに大懇親会の開催。
- ・第三に、型にはまらない自由で開かれた本会議運営を目指し、心から楽しんでいただける地区大会といたします。

会場は、港町函館の中心に位置する函館国際ホテル。歴史的建造物や美しい坂道、活気ある朝市など、異国情緒と温かなおもてなしが皆様をお迎えいたします。

本大会では懇親ゴルフ大会は実施いたしません、その分、クラブの垣根を越えた語らいと、新たな友情を育むひとときを大切にしたいと考えております。

どうぞ、クラブの皆様とともに心をひとつにし、この函館の地でロータリーの原点と未来を感じる2日間をお過ごしください。

1日目
10/11(土)

地区内
全会員の
参加を
お待ちしております



★基調講演

須田慎一郎氏

「日本経済の表と裏」

須田 慎一郎(すだ・しんいちろう)

経済ジャーナリスト。1961年、東京生まれ。日本大学経済学部卒。経済紙の記者を経て、フリー・ジャーナリストに。テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、読売テレビ「そこまで言って委員会NP」、ニッポン放送「飯田浩司のOK! Cozy up!」、YouTubeチャンネル「別冊!ニューソク通信社」「真相深入り虎ノ門ニュース」他、多方面で活躍中。

また、平成19年から24年まで、内閣府、多重債務者対策本部有識者会議委員を務める。政界、官界、財界での豊富な人脈を基に、数々のスクープを連発している。

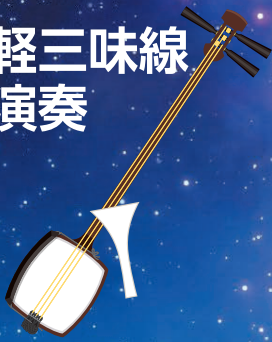
星空の大晚餐会

RI会長代理ご夫妻歓迎晚餐会

★オープニング

①江差追分

②津軽三味線
大演奏



★石野真子スペシャルライブ



いしのまこ
石野真子

- 生年月日/1961年1月31日
- 出身地/兵庫県
- 血液型/A型
- 趣味/絵画・ビーズ刺繍・ガーデニング

50組限定
特別撮影会実施

- 代表曲
- ★狼なんか怖くない
 - ★ジュリーがライブ!
 - ★春ラ!ラ!ラ!
 - ★私の首領 他

2日目
10/12(日)

★スパウスイア スイーツ&ショータイム

出演者

亀ひろし、麗美

場所

旧北海道庁
函館支庁庁舎
(Jolly Jellyfish元町公園店)



亀 ひろし
(君小路あやまる)



ニューハーフ
麗美

ドレスアップ記念撮影会

●場所/旧函館区公会堂

希望者のみ



会場
ご案内

函館国際ホテル



〒040-0064 北海道函館市大手町5-10
TEL:0138-23-5151(代) FAX:0138-23-0239

登録料

会員	18,000円
ご家族	10,000円
新世代	7,000円
インナーホイール	12,000円
RI会長代理ご夫妻歓迎 晚餐会&大懇親会	12,000円

2025-2026 年度 ガバナー公式訪問に関するお願い

2025-26 年度の公式訪問は「公式訪問日程」の通り 7 月 8 日、札幌西ロータリークラブから始まります。貴クラブへの訪問を有意義なものとするためにも、下記の事項についてお手配とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

1. 公式訪問に必要な書類

下記の書類は貴クラブ訪問日の 2 週間前までにガバナー事務所へお送り下さい。

- ①今年度（2025-2026）クラブ活動計画書と前年度（2024-2025）活動報告書
※公式訪問が 7・8 月のクラブの場合は、活動報告書は前年度分で代用可能です。
- ②クラブ細則
- ③会員名簿
- ④クラブ会報（最近の 4～5 回分）
- ⑤過去 5 年間の年度別会員入退会数および退会者のクラブ在籍年数
- ⑥貴クラブの特徴（クラブの自慢、良い事業等）をご紹介下さい。

2. 会長・幹事懇談会

- ①会長・幹事の他に会長エレクトも必ずご出席下さい。

3. クラブ例会

- ①和やかで楽しく例会を行うためにも、より多くの会員に出席を奨励して下さい。
- ②ご連絡戴いた地元公共機関へのご挨拶は喜んで訪問させて戴きます。
- ③訪問時のお心遣いは、お気持ちだけ頂き固くご辞退致します。

ガバナー事務所からお願い

1. クラブの例会数・会員数報告について

毎月の最終例会から 15 日以内にガバナー事務所へ FAX かメールにて提出するようお願い致します。

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を添付の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。

地区ホームページ⇒ 例会変更フォームの順でアクセスできます。

（ホームページにアクセスが難しい場合は FAX、メールでお送り下さい）

4. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400 字前後に写真 1～2 枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月 5 日です。（メールでのご連絡にご協力ください）